

# 土地改良区

## 合併予備契約調印式

仁多郡仁多町土地改良区、奥出雲町横田土地改良区、横田町開発土地改良区の合併予備契約の調印式が七月三十一日、役場仁多庁舎で行われました。

これまで三回の合併推進委員会が開催され、今秋の合併を目指すこととなりました。合併により経営基盤の強化対策や農業用排水施設の管理の一元化など、組合員へのき

土地改良区は、圃場整備、農道整備といった農地の確保や土地改良施設の管理、計画的な土地利用、担い手育成など奥出雲町の農業振興の中核を担っています。

これまで、理事会及び総代会において、統合に向けた検討がなされてきましたが、各土地改良区の組織形態が大きく異なることから、平成十八年二月には町の諮問機関である、行政改革審議会から早期統合の第一次答申が示されています。

こうしたことを踏まえ、今年三月には、各土地改良区から合併推進委員が選出され、



▲ 地域農業の発展を願いがっちり握手

め細やかな対応が図られるとともに、事務経費の縮減により健全経営に取り組むこととなります。

## 奥出雲町が上位独占 第45回 島根米品評会

7月5日、出雲市大社町で開催された第45回島根米品評会で、本町から多数出品した中から8名の生産者が表彰され、上位を独占し高い評価を受けました。

この品評会は、島根米の消費市場におけるブランド確保と生産者の産米改良意欲の高揚を図ることを目的として毎年開催されています。

今回の品評会に出品されたものは、平成18年産米で各JAで検査された玄米の中から選ばれたもので、出品点数は水稲うるち玄米の部105点、醸造用玄米の部6点、もち玄米の部16点の出品があり、形質、整粒歩合、水分などが慎重に審査されました。

本年11月には、奥出雲町で「全国米・食味分析鑑定コンクール」が開催されることから、今後も従来に増して、生産性の向上と消費者ニーズに沿った市場評価の高い米作りが期待されます。



### 水稲うるち玄米総合の部

	顕彰名	氏名	地区
総合首席	農林水産大臣賞	佐々木敏視	馬木
総合次席	全農会長賞	杉原清一	馬木

### 醸造用玄米の部

首席	総合食料局長賞	堀江道雄	阿井
次席	日本酒造組合中央会長賞	内田芳幸	布勢
三席	県知事賞	妹尾勝友	布勢
四席	農業振興協会会長賞	藤原正俊	八川

### もち玄米の部

首席	全米麦協会会長賞	藤原利朗	馬木
次席	全米販理理事長賞	戸屋幸利	馬木

## 地域経済の活性化に期待

### 東洋製鉄(株)出雲仁多 第3工場完成

鑄造製品製造業界の国内トップクラスのメーカーである東洋製鉄(本社・大阪市東淀川区)の出雲仁多第3工場が完成し、7月31日、現地で竣工式が行われました。

式には、東洋製鉄の音頭宏紀社長をはじめ、島根県商工労働部の山根泉部長や岩田町長など約60人が出席しました。

岩田町長からは「働き場の確保拡大はもとより、地域経済に大きく寄与いただき喜びに耐えない」と祝辞がありました。

また、完成を祝って記念植樹が行われ、もみじ、イチヨウ、クロマツが植えられました。



▲ 完成を祝い記念植樹